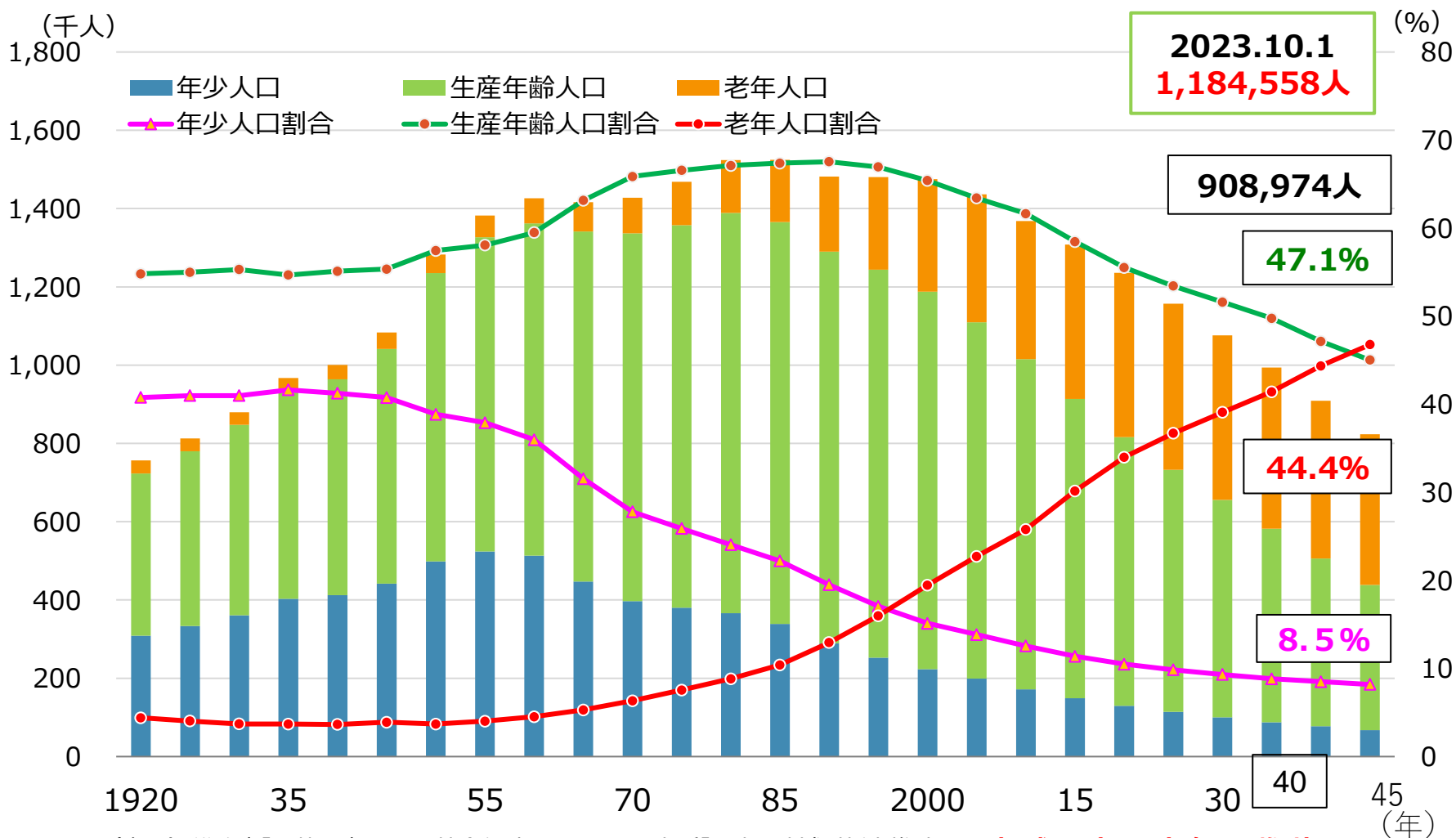


# 参考1：人口の推移

①前回有識者会議（2023年12月21日）資料抜粋

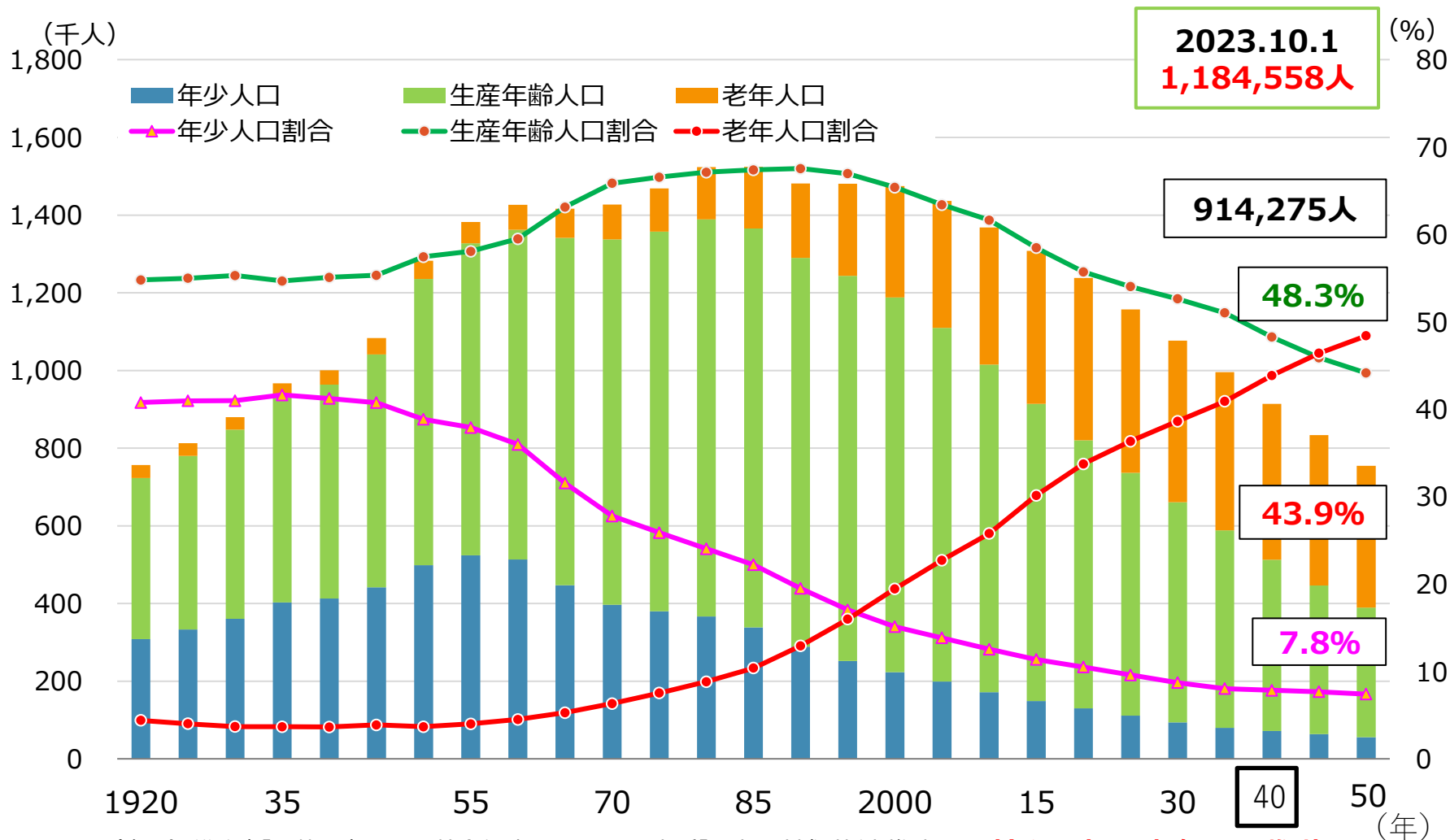
◆本県の人口は1983（昭和58）をピークに減少転じており、2040年までには100万人を下回り、約90万人になると推計。2045年には、65歳以上の人口が15～64歳の人口の割合を上回る見込み。



(資料) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (平成30 (2018) 年3月推計)」

②2023年12月22日に公表された将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）を反映したもの

- ◆2020年の国勢調査を基に算定。前回(2018年3月公表)から、平均寿命の伸長やコロナ禍による転出超過の若干の弱まりなどもあり、やや上方修正。前回公表から2040年は5,301人増となっている。
- ◆今回は2050年までの推計となっているが、前回と同様に、今後も人口減少が続き、高齢化も進むという状況に変わりない。(2030年：1,076,878人、2040年：914,275人、2050年：754,751人)



(資料) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (令和5 (2023) 年12月推計)」